

「かごしまの食未来プロジェクト」発表会開催要領

1 目的

県内学生を対象に、県産食材の新たな活用や若い世代をターゲットにした効果的なPR方法等について、アイデアを募集し、採択・実践されたプロジェクトの活動成果を紹介することにより、若い世代の県産食材への理解を深め、県産食材の活用促進を図る。

2 主 催

鹿児島県

3 日 時

令和8年2月1日（日）午前11時00分～午後0時30分

4 場 所

マルヤガーデンズ 4階 Unitement garden（住所：鹿児島市呉服町6-5）

5 内 容

(1) プロジェクト活動の取組紹介

(2) 表彰式

※ (株)鹿児島讀賣テレビ主催のイベント「アオハル祭カルチャー」と連動して実施

6 採択・実践プロジェクト

(1) 「かのや姫小豆」ちゃん物語

鹿児島県立鹿屋農業高等学校食品＆生活コラボチーム（5人）

鹿屋の「かのや姫小豆」という在来種の小豆を高校の農場で栽培・収穫する。校内で収穫した「かのや紅はるか」と組み合わせたレシピを開発し、試食会を開催し、「かのや姫小豆」の知名度を上げる。

(2) 鹿児島給食占拠～旧食からNEW食へ～

学校法人神村学園 神村学園高等部ちいさな調理師s（3人）

鹿児島県を、5つの地域（熊毛・大島、いちき串木野、大隅・南薩、姶良・伊佐、北薩）に分け、子どもたちに愛される新しい学校給食の献立を考案する。また、献立で使われている食材が生産されている地域での取り組みなどの動画を作成し、給食提供と併せて児童に視聴してもらう。

(3) Diffuchar～ディフューザー×鹿児島茶～

志學館大学 茶団（キャリア教育ゼミ）（9人）

リーフ茶を飲まない若い世代に向けて、学生起業家と連携し、お茶のディフューザーを作成。お茶の香りに着目したディフューザーとフレグランススプレーをお茶マルシェや学内イベントで販売し、若い世代へPRする。